



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

2020年1月からプラスチック類は有料で分別収集、 トレー・発砲スチロール等も無料から有料へ

日野市は、2020年1月からプラスチック類の分別収集を行う予定です。

それに先立って、プラスチック類を有料で収集すること、これまで無料で収集していたトレーや発砲スチロール類も有料とすることを、廃棄物減量等推進審議会に諮問していたことが明らかになりました。

今年2月の市議会議員選挙では、ごみ袋の値上げが大きな争点となりました。3月市議会で市は「ごみ処理手数料を値上げす

る予定はございません」と答弁したばかりです。

9月1日号の「広報ひの」には、プラスチック類を分別収集を始めること、プラスチック類の分別収集に対するパブリックコメント実施の記事が掲載されています。

しかし、記事のどこにも、プラスチック類の分別収集は有料とすることや、これまで無料だったトレーを有料化することはいっさい書かれていません。

「ごみは有料、資源は無料」ではなかったのか？

2000年の「ごみ改革」の時、日野市は「ごみを減らせば減らすほど負担が少なくてすむ、分別をして資源物にまわすと負担が少なくてすむ」という、有料ごみ袋と資源物の無料回収を導入することでごみ減量リサイクルをすすめると、市民に説明しています。

そして、ごみ改革の成果と分析のなかでも「ごみは有料、資源物は無料にしたため」「リサイクルがすすんだ」と述べています。

「資源物は無料」というごみ改革の基本方針を「施設の建設、また運営費などに費

用がかかる」と市の財政的な都合で、撤回し、有料にしてしまおうというのは、あまりにも身勝手ではないでしょうか。

しかも、市民にその方針転換を広く知らせず、多くの市民が知らないうちに進めてしまおうというのは、問題です。



「夜間4時間もホバリング」

吉良よし子参議員らのオスプレイ実態調査に参加



10月22日、吉良よし子参議員、池内さおり前衆議員、徳留道信都議、池川友一都

議らが横田基地周辺地域の住民からオスプレイの実態について聞き取り調査を行いました。

日野市からは清水とし子市議と旭が丘在住の住民二人が参加しました。

旭が丘在住のSさんは、10月3日に旭が丘中央公園で行われたオスプレイ配備撤回を求める集会の最中にC130J大型輸送機が1時間に6機も通過していったことや、夜間無灯火で低空をオスプレイが飛ぶようになってから、C130Jまで無灯火で飛ぶようになったことを報告しました。

住民から寄せられた危険な訓練の実態

八王子市久保山町在住のTさん

「夕方オスプレイが無灯火で飛んできたので、見上げていたら、オスプレイが自分を標的にするかのよう、スポットライトを当ててきた。」

瑞穂町在住のOさん

「自宅の50mほど先にオスプレイの離発着場がある。夜6時から10時ごろまで、4時間ぐらいホバリングを行っている。窓を閉めていても、会話もテレビの音も聞こえない状況」

立川市の施設に勤務している方

「立川市内の児童施設に勤務しているが、深夜3時ごろからエンジンテストの音が響き始めて、子どもたちが起きてしまう」

畑だより・・・

ハウレンソウが5cmくらいに育った頃なぜか、急にしおれてしまうものが続出します。

よく見ると、根っこの先がありません。根切り虫にやられてしまったようです。

